

# 神経内科学総論

## 【General Neurology】

担当責任者 教授（神経内科学） 足立 弘明

### ねらい

神経系の正常構造と機能を理解し、脳・神経系の特性を認識する。この講義では、神経解剖、神経生理、神経病理、神経化学・薬理学などを学ぶことにより、神経学の総論的な知識を身につける。これらを学ぶことにより脳・脊髄の局在診断や神経症候の理解が可能になる。さらに、心療内科学の総論的な知識も身につける。この講義では、主要な神経疾患・筋疾患・心身医学に関する病態生理、原因、症候、診断と治療を学ぶ。

### 学修目標

1. 脳・脊髄と頭蓋・脊椎の解剖を復習し、脳血管の走行・支配領域、及び髄液腔との関係を理解し、特に大脳基底核、脳幹、脊髄部では横断面の解剖を図示できる。(Ⅱ-1)
2. 脳・脊髄の局在機能を理解し、主要神経症候と神経解剖学的病変部位を説明できる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5)
3. 基本的な神経学的診察法を述べるができる。(Ⅳ-2)
4. 主要な脳・神経疾患の病因、病態生理、鑑別すべき疾患を列挙することができる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5)
5. 主要な脳・神経疾患に対する検査の適応・禁忌と、その意義を述べるができる。(Ⅱ-2, Ⅱ-6)
6. 主要な脳・神経疾患に対する治療の基本について説明できる。(Ⅱ-6)
7. 主要な心療内科疾患の病態生理、鑑別すべき疾患を列挙することができる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5)

### 事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義プリントを参考にして、講義内容の復習をすること。

### 成績評価方法・基準

1. 100点満点換算でA、B、C、D、Fの5段階評価とする。
2. 理解度チェックのための小テストを行うが、オンラインの聴講のため復習テスト(10割)の結果を基に総合的に判断する。

### ○ 教科書

浅野嘉延 編 「なるほどなっとく！内科学」(南山堂)  
矢崎義雄総編集「内科学」(朝倉書店)  
水野 美邦編 「神経内科ハンドブック 第5版: 鑑別診断と治療」(医学書院)  
平山恵造監修「臨床神経内科学」(南山堂)  
神田隆著「医学生・研修医のための神経内科学」(中外医学社)

### ○ 参考書

福武 敏夫著 「神経症状の診かた・考えかた」(医学書院)  
田崎義昭・斎藤佳雄著「ベッドサイドの神経の診かた」(南山堂)  
Harrison's Principles of Internal Medicine (McGrow-Hill, Inc.)  
L.P.Rowland 「Merritt's Textbook of Neurology」(Williams & Wilkins)

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.12.7	火	1	脳神経内科とは(神経系の一般特性)(1)	D	2	1	足立 弘明
"	"	2	脳神経内科とは(神経系の一般特性)(2) 小テスト	"	"	"	"
"	"	3	脊髄・脊髄神経の機能と症候(1)	"	"	2	岡田 和将
"	"	4	脊髄・脊髄神経の機能と症候(2) 小テスト	"	"	"	"
12.8	水	5	脳幹・脳神経系の機能と症候(1)	"	"	3	岡田 和将
"	"	6	脳幹・脳神経系の機能と症候(2) 小テスト	"	"	"	"
"	"	7	高次脳機能(1)	"	"	4	足立 弘明
"	"	8	高次脳機能(2) 小テスト	"	"	"	"
12.14	火	1	心身医学総論(1)	"	15	1	兒玉 直樹
"	"	2	心身医学総論(2) 小テスト	"	"	"	"
"	"	3	小脳の機能と症候(運動失調)(1)	"	2	5	岡田 和将
"	"	4	小脳の機能と症候(運動失調)(2) 小テスト	"	"	"	"
12.15	水	5	自律神経、感覚系の機能と症候(1)	"	"	6, 7	岡田 和将
"	"	6	自律神経、感覚系の機能と症候(2) 小テスト	"	"	"	"
"	"	7	運動系:運動機能・腱反射と症候(1)	"	"	5	足立 弘明
"	"	8	錐体外路と症候(2) 小テスト	F	1	23	"
R4.1.4	火	1	大脳基底核の機能と症候、けいれん、睡眠(2)	D	2	5	豊田 知子
"	"	2	大脳基底核疾患の病態、けいれん 小テスト	F	1	3	"
"	"	3	意識障害・失神、脳死(1)	"	"	4	岡田 和将
"	"	4	意識障害・失神、脳死(2) 小テスト	"	"	"	"